

農業王国 空軍の鼓動

▷6

九月下旬、札幌市の農業で「さくら307」「ほし
・食品産業技術総合研究機構のゆめ」などを開発、市場
構北海道農業研究センターに投入してきた。しかし、
(北農研)で、市立羊丘小 中食 持ち帰り弁当や惣菜
学校の児童が稲刈りの体験 題)など業務用向けのブレ
学習をした。収穫したのは、 ント米として一定の評価は
「おぼろづき」コシヒカ 得たものの、単独で食べる
「おぼろづき」コシヒカ にはいまい。価格はコ
リと同等の食味をめざして、より低価格で本州の銘柄米
北農研が開発、今年から美 より低価格で本州の銘柄米
幌市などで本格生産が始ま 銘柄米と匹敵する品種の育
った新品種だ。

道産米の弱点

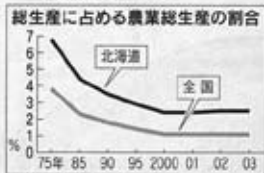
最大の弱点はタンパク 含まれるアミノ酸とい
成分の含有率を抑え、粘り 北海道の一次産品は長
を出した点。従来、「粘り 年、低価格で本州の銘柄米
が弱い」とされた道産米の 給する位置づけに甘んじて
弱点を克服した。 「コン きた加が認めない。「コン
道内の研究機関はこれまで、アミノ酸も原料はこ

めざせ「素材基地」脱却

高付加価値品 研究急ぐ



銘柄米に匹敵する食味とし 期待される「おぼろづき」 (札幌市の北農研)



ちらが供給しているのに、関連産業、飲食店を合 わ
加工・商品化するのには本州 廿二次、三次産業段階では
企業が自立つ。道内の水 八十五兆三千億円を越える
産関係者は自給(じょうぶ) 規模になる。これに対し道
気味に語る。農産物にも同 内の農水産業の生産額は約
じ構図が三つは多い。 一兆三千億円あるが、原料
農水産物者が九月に公表 としての出荷が多く、本州
した「農業・食品関連産業 並みの付加価値は付いてい
の経済計算」(二〇〇四年 ない(農政関係者)の
度)によると、農水産業の 実情だ。
生産額は全国で約十一兆八 ころした中、より高値で
千億円。これに食品工業と 売れる商品を目指し、高付
加価値型の品種開発が各地 で動き出している。
赤い葉、オレンジシ 鮮やかな肉色を持つ新
品種のカラフルポテトを開 開発したのは北農研の研究室
物などから、新たな機能性 規格外の農産物や農業廃棄
食品を開発する産学連携も 食品を開発する産学連携も
加速している。

この連載は管内太田、山 田中茂、川上寿敏、坂野孝
幸、山川公生が担当しまし
た。

北海道

電話 011-311-2261
011-311-2262
011-311-2263
011-311-2264
011-311-2265
011-311-2266
011-311-2267
011-311-2268
011-311-2269
011-311-2270

